

倭文庄田地区まちづくり交付金事業事後評価原案 評価結果のまとめ

都道府県名	兵庫県	市町村名	南あわじ市	地区名	倭文庄田地区			面積	49.8ha
交付期間	平成17年度～平成21年度	事後評価実施時期	平成21年7月～11月	交付対象事業費	660百万円	国費率	0.40		

1)事業の実施状況	当初計画に位置づけ、実施した事業		事業名							
	基幹事業		道路事業(市道庄田線)、公営住宅等整備事業(しづおり第2団地)							
	提案事業		地域創造支援事業(公営高齢者向け設備整備事業(しづおり第2団地))、まちづくり活動推進事業(花いっぱい運動)							
	当初計画から削除した事業		事業名			削除/追加の理由		削除/追加による目標、指標、数値目標への影響		
	新たに追加した事業		基幹事業		高次都市施設(地域交流センター)		現存する庄田公会堂を修繕・保存継承し地域活動を実施する方針に転換したため。		指標1に影響を与えるが、影響は軽微であるため、目標数値は据え置く。	
			提案事業		まちづくり活動推進事業(ため池保全事業)		関連事業へ移行(平成19年より農林水産省所管の「農地・水・環境保全向上対策事業」で実施したため。)		影響はない。	
		基幹事業		なし		なし		なし		
		提案事業		なし		なし		なし		
交付期間の変更		当初変更	平成17年度～平成21年度	変更なし		交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響				

2)都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標	単位	従前値		目標値		数値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期
			基準年度	目標年度	モニタリング	評価値						
指標1	生活環境の満足度	点	50	H16	75	H21		75.8		あり	公営住宅や道路の整備により安心・安全で良好な住環境を形成したことで、住民満足度調査において75%の住民が生活環境が向上したと回答している。また、通勤・通学や出産祝いの助成金の交付、住民活動が活発化したことによる地域コミュニティの形成により、生活環境に満足している住民も79%となっており、こちらも満足度の向上に寄与している。	H22年7月
指標2	各種サークル団体の数	個	0	H16	3	H21		3		あり	花いっぱい運動を契機に、住民のコミュニティ活動の機運が刺激され、緑文化協会に3つの活動団体(倭文華道めくみ会、倭文手芸同好会及び大正琴しづおり会)が新しく登録された。これにより、生涯活動を通じた多様な世代の交流が促進され、地域コミュニティの活性化を図ることができた。	H22年5月
指標3	プランターの数	個	0	H16	100	H21		18	x	あり	地区住民へ花いっぱい運動への参加を呼びかけ、住民のまちづくり意識の高揚、まちづくり活動の活性化を図ることができた。	

3)その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	指標	単位	従前値		目標値		数値		目標達成度 <sup>1)</sup>	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期
			基準年度	目標年度	モニタリング	評価値						
その他の数値指標1	居住人口	人	662	H16	/	/	/	770	/	/	まちづくり交付金事業の実施により、居住人口が約100人増加した。庄田地区を含む倭文地区全体では、少子高齢化の進展に伴い、地区の保育園、小学校及び中学校の園児、児童及び生徒の減少も急激に進んでいたが、しづおり第2団地(24戸)が整備されたことで、その減少に歯止めをかけることができた。	H22年4月
その他の数値指標2	子ども交通環境満足度	%	/	/	/	/	/	73	/	/	通学路となっている市道庄田線について、歩道の新設を行い安全性の向上を図ったことで、満足度調査では通学児童・生徒の73%が通学環境が良くなったと回答した。また、大型車の対向も可能となり、倭文庄田地区の交通利便性も向上させることができた。	H22年7月

4)定性的な効果発現状況  
 まちづくり活動推進事業(花いっぱい運動)に取り組むことにより、地域住民のまちづくり活動によりコミュニティの活性化ができたことに加えて、地元農産物を販売する朝市も毎週日曜日に開催されるようになり、地産地消の取組みによる農業振興も図ることができ、まちづくり交付金事業の実施による地域コミュニティの活性化に相乗効果もたらされた。

5)実施過程の評価	実施内容	実施状況		今後の対応方針等
		モニタリング	評価	
住民参加プロセス	地区住民へ花いっぱい運動への参加を呼びかけ、それをひとつの契機にして住民のまちづくり意識の高揚、まちづくり活動の活性化を図ることができた。また、交付期間中において各種の事業を円滑に進め、目標に向けて確実な効果をあげるために、毎年、事業成果について評価や事業の進め方の改善等を行うための行政懇談会を実施した。また、その結果については、随時、住民に情報公開した。	都市再生整備計画に記載し、実施できた		今後も地域住民と連携した事業を実施するとともに、地域住民の意見を取り入れながら、倭文庄田地区のまちづくり活動を推進していきたい。
		都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した		
		都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった		
持続的なまちづくり体制の構築	なし	都市再生整備計画に記載し、実施できた		なし
		都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した		
		都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった		

# 倭文庄田地区まちづくり交付金事業事後評価原案 地区の概要

## 倭文庄田地区(兵庫県南あわじ市) まちづくり交付金の成果概要

まちづくりの目標	目標を定量化する指標		従前値		目標値		評価値	
<b>大目標</b> 多様な世代が支え合う、地域コミュニティに満ちた市の副拠点の創造 市の副拠点にふさわしい多様なニーズに対応した良好な居住環境の形成を図る。 住民によるまちづくり活動等を支援することにより、地域コミュニティの形成を図る。 道路整備の実施により地域の利便性を向上し、交通環境の向上を図る。	生活環境の満足度	単位:点	50	H16	75	H21	75.8	H21
	各種サークル団体の数	単位:個	0	H16	3	H21	3	H21
	プランターの数	単位:個	0	H16	100	H21	18	H21

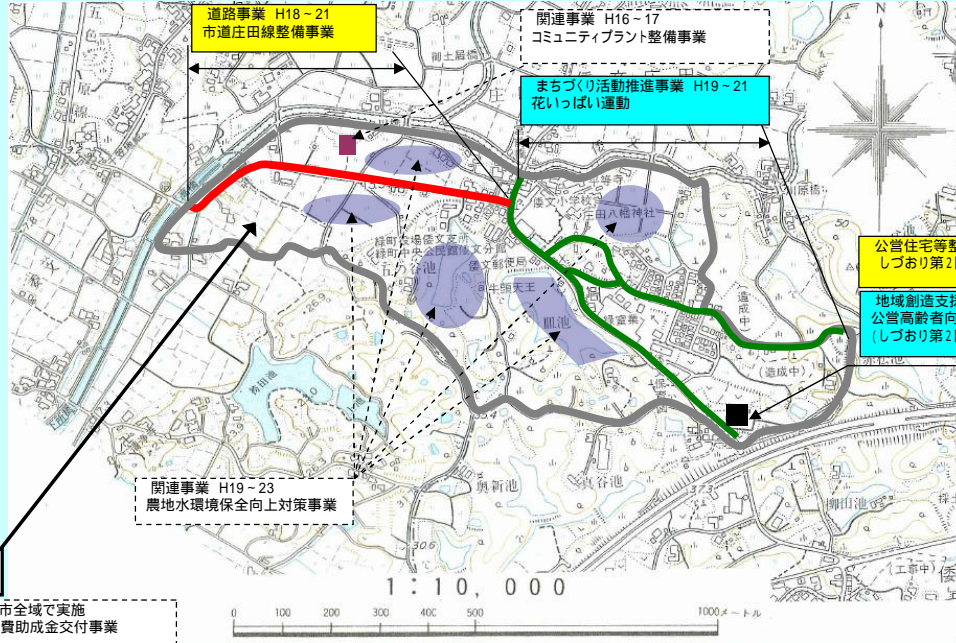


道路事業  
市道庄田線整備事業



関連事業  
コミュニティプラント整備事業

倭文庄田地区 49.8ha



まちづくり活動推進事業  
花いっぱい運動



関連事業  
農地水環境保全向上対策事業



公営住宅等整備事業(しづおり第2団地)  
地域創造支援事業  
公営高齢者向け設備整備事業

関連事業 H12-22 市全域で実施  
島外通勤 通学者交通費助成金交付事業  
関連事業 H12-22 市全域で実施  
出産祝金支給事業

まちの課題の変化

・南あわじ市では少子高齢化の進展に伴い、人口が毎年約500人ずつ減少しているが、まちづくり交付金事業を実施したことにより、倭文庄田地区の人口は約100人増加するとともに、地区の保育園、小学校及び中学校の園児、児童及び生徒の減少にも歯止めをかけることができた。  
 ・地区住民へ花いっぱい運動への参加を呼びかけ、住民のまちづくり意識の高揚、まちづくり活動の活性化を図ることができた。さらに、地元農産物を販売する朝市も毎週日曜日に開催されるようになり、地産地消の取組みによる農業振興も図ることができ、まちづくり交付金事業の実施による地域コミュニティの活性化に相乗効果もたらされた。  
 ・市道庄田線は通学路であり、淡路交通が運行するバス路線にもなっており、道路整備の実施により歩道が新設されたことで、地域の利便性及び交通環境の向上を図ることができた。

今後のまちづくりの方策(改善策を含む)

・少子化、若年層の市外流出を防ぐため、居住人口を増やす施策を展開する。  
 ・まちづくり推進活動による地域コミュニティ活性化の相乗効果をふまえ、地域の魅力を再発見し、地域力の向上や住民活動の連携と事業との継続的な連携を図る。  
 ・適切な道路維持管理を行っていくことにより、良好な交通環境の維持を図る。さらに、他路線における地域の利便性及び交通環境の向上を図るため、市道庄田線に接続している県道倭文五色線の市立倭文保育園前から市立倭文小学校前までの区間及びしづおり団地から県道洲本松帆線倭文長田交差点までの区間に、新たに歩道を新設する。